

まちだの市民と農をつなぐ「まちだベジハブ」の取組について

1 趣旨・背景

町田市の農地の約6割は市街化区域内の農地であり、まちなかに農地が点在し「家のすぐ近くに畑がある」という環境が魅力の一つとなっています。しかし、後継者問題や高齢化による農作業の負担過多といった課題を抱え、毎年約4haの生産緑地が減少しています。

このことから、町田市の特徴を活かした都市農地保全・活用のための取組を推進する必要があります。

2 「まちだベジハブ」とその取組について

町田市の都市農地が抱える課題を解決するため、市では「まちだベジハブ」と称して官民連携による試行的取組を進めています。

(1) 「まちだベジハブ」とは

「まちだベジハブ」とは、市民をはじめ農業者や農に関わる事業者などさまざまな主体を「農」でつなぐ取組の総称です。

(2) 「まちだベジハブ」の機能とこれまでの試行的取組

① 農作業体験を通じた農の担い手の育成

2～3時間程度参加できる農作業体験を通し、都市農業に関われるきっかけづくりと次世代の農の担い手の育成を実施

② 季節の野菜収穫などの体験交流

市内農業者と玉川大学地域活性化サークルがコラボした季節の野菜収穫体験交流の実施

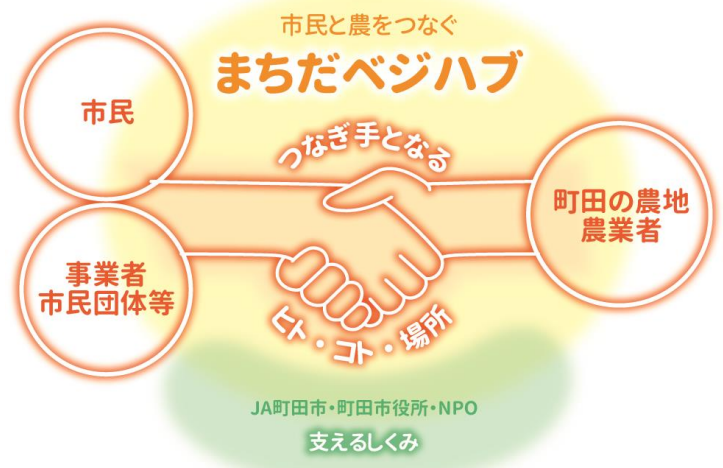


③ 町田産野菜の地域内流通

ウェブショップを活用した町田産野菜の地域内流通サービス社会実験を実施

④ 「まちだVEGEHUBフェスタ」の開催

収穫体験や地域内流通など、個別に行ってきた取組を連携的、一体的に展開する取組を実施



(3) 2022年度の主な取組

① 少しだけ農作業体験プログラム

市内農家の協力のもと、作付けや収穫作業など、簡単な農作業を通して、心身のリフレッシュと都市農業を営む農家さんとの交流機会を創出

○下小山田・囃師町エリア 計3回



② まちだの農と市民をつなぐ「まちだベジハブ」意見交換会の開催

市内の農業者や農に関わる事業者が一堂に会し、都市農地の課題の共有や課題解決のアイデア、「まちだベジハブ」に求められる役割等について話し合う意見交換会を開催

○2022年12月、2023年2月



3 「まちだベジハブ」の今後の取組

今後とも定期的な意見交換会を開催しながら、農業者や農に関わる事業者の抱える課題を明確にし、「まちだベジハブ」の取組を支援します。

また、「まちだベジハブ」に求められる役割・機能として、情報の共有・発信・提供・相談機能、サポーターなどの取組支援機能、相談窓口やマッチング機能、農に関わる人や事業者との交流機能など、様々な取組を具体化するとともに、持続可能なプラットフォームの構築を目指します。

4. 今後のスケジュール（予定）

2023年	「まちだベジハブ」の取組
4月～6月	○意見交換会の開催 ○「まちだベジハブ」としての具体的取組の検討
7月～12月	○意見交換会の開催 ○「まちだベジハブ」のプラットフォーム構築の検討 ○「農の風景育成地区」の指定と合わせて、指定地区を「まちだベジハブモデル地区」として設定し、試行的な取組を実施